


3月末～4月初めの土・日曜日は 転入転出手続きなどできます

▶日時 3月24日(土)・25日(日)・31日(土)・4月1日(日) 8時30分～12時15分・13時～17時▶業務 表のとおり(内容により、一時預かりや平日の対応になることがあります。不明な点は事前に各課へ問い合わせてください)▶その他 毎週土・日曜日に行っている住民票などの証明書発行や納税相談、市税の支払いも受け付けます▶ 行政管理局 ☎70・5657

開庁する窓口	取り扱う業務
市民課 (☎70・5668)	①住所の異動(転入や転出など) ②戸籍届の受け付け(婚姻届や出生届など) ③印鑑登録 ④外国人登録 ⑤介護保険資格取得・異動・喪失にかかる受け付け ⑥小・中学校の転入学(相談業務を除く)、新1年生の就学 ⑦し尿・汚水汲み取りの申し込み ※①②で他市に確認する必要がある場合は、預かりか平日対応 ※⑤～⑦は住所の異動に伴うものに限ります
子育て支援課 (☎70・5664)	①子ども手当 ②小児医療費助成 ※住所の異動に伴うものに限ります
保険年金課 (☎70・5617)	①後期高齢者医療被保険者資格(転入・転出)異動 ②国民健康保険被保険者資格(転入・転出)異動 ③国民年金第1号被保険者(転入・転出)異動 ※住所の異動に伴うものに限ります ※年金事務所などに確認する必要がある場合は、預かりか平日対応



暮らしの消費生活相談

スマートフォンに関する問題点

新年度に向け、スマートフォンに買い換えたいと思っている人も多いと思います。スマートフォンはアプリケーションソフトを消費者自身が選択してダウンロードすることにより、携帯電話を自分仕様に使えて便利です。反面、従来の携帯電話とは大きく異なる機能もありトラブルが多くなっています。

例えば操作しない時でも勝手にパケット通信が行われていることがあります。そのために従来の携帯電話と同じように利用しているつもりでも、通信料が高額になる場合があります。勝手に通信しているために電池を消耗し、いざ、電話しようと思った時に電池切れで利用できなかったという苦情もあります。

スマートフォンは携帯電話の進化型と言うよりも、小型のパソコンと考えた方が良いでしょう。そのため、ウィルスに感染する危険性もあります。ウィルス対策アプリを入れるなど、セキュリティー対策を消費者自身が行う必要があります。広告のイメージや店のキャンペーンなどの割安感だけで判断せず、スマートフォンの特徴をよく理解した上で商品を選択しましょう。

 消費生活センター ☎70・3335。

きろめき 市民活動

まちかど特派員 レポート



▲完成したクリスマスカード

姪御さんたちのために2枚のカードを作っていたAさんは、なかなかの出来栄で、お母さんのためにも作ろうとはりきっていました。笑顔がいっぱいのAさんは、28年間も病を抱えている方とは思えません。女性のBさんも、かわいい雪だるまのカードが出来上がりました。きつと、いつもお世話になってい

「バーぶ・ゆう」は、統合失調症の症状には、周りに誰も居ないのに声が聞こえる。感情が不安定になり、ささいなことで興奮してしまふ。意欲や気力がなくなり、引きこもりがちになってしまふなどの症状があります。その多くは、思春期に発症するといわれています。そのような精神疾患に対する社会の偏見や差別の除去も、活動の大きな柱となっています。



▲ケーキが出来上がりました

「お母さんにプレゼントするのでしよう。現在も入院中のCさんは、外泊許可をもらったの参加でした。美味しいランチを頼張っていました。薬を忘れたと苦笑。「物忘れする年ではないでしょう」と冷やかされて、またまた苦笑いでした。

特派員

【秋元 謙治・広報まちかど

あふりびと

－奈良・平安時代③－

相模国府はどこに 高座郡衙との関係

奈良・平安時代の綾瀬市域は相模国に属していました。今で言えば県庁にあたる相模国府は、どこにあったのでしょうか。この問題は長らく議論されてきました。しかし、いまだ決着がついていません(綾瀬市史5 通史編 原始・古代 427頁)。

つく地名も残っています。ここで議論の的になっているのは奈良・平安時代以前の相模国府の所在です。主に3説に分かれます。いずれも該当するような遺跡が未発見なため、確定はしていません。

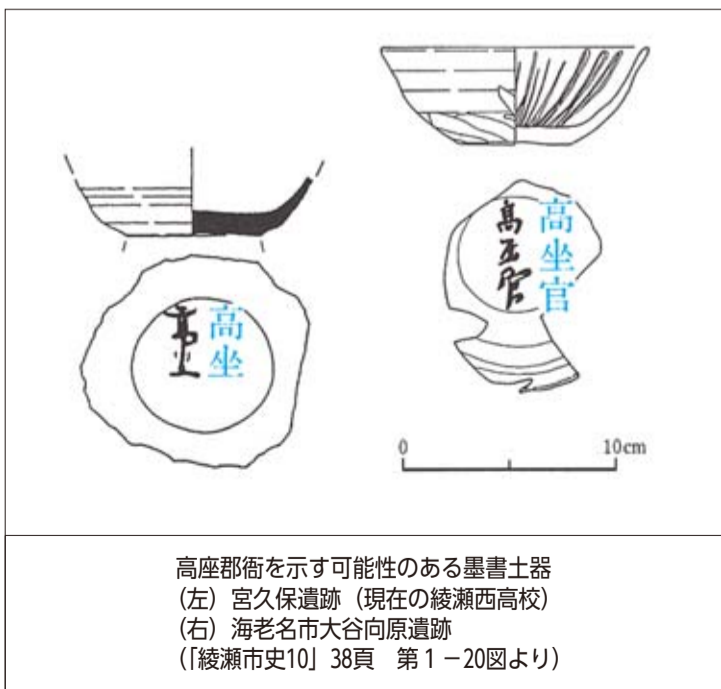
①海老名説 全国的に国分寺と国府は近接している場合が多いので、海老名市域とする説

②小田原説 発見された千代廃寺を国分寺にあたると考え、①と同じ理由で、小田原市域とする説

③平塚説 近年の発掘調査の結果をもとに、8世紀前半以前も平塚に市域があったとする説

また、施設としての国府はなく、郡衙が国府の機能を果たしていたと考える人もいます。そのような考えに従い、さらに海老名市域周辺に高座郡衙があったならば、綾瀬市域も相模国の中心ということになるのです。

7.  墨書土器習課 ☎70・563



高座郡衙を示す可能性のある墨書土器
(左) 宮久保遺跡(現在の綾瀬西高校)
(右) 海老名市大谷向原遺跡
(「綾瀬市史10」38頁 第1-20図より)